

授業科目名	循環器疾患患者の看護	担当者	飯田 美智子
単位	—		
時間数	7時間	学年	1学年
授業形態	講義	開講時期	後期
授業の到達目標	疾患、病態を把握し、日常生活の援助と診療時の補助技術について学ぶ。経過別看護を理解し、援助技術を学ぶ。		
授業の概要	循環器疾患は加齢とともに進行し、生活習慣と密接な関係がある。循環器看護では、病状の安定化と疾患の進行の予防、症状の緩和と生活の質の向上、患者教育とセルフケアの促進、早期の合併症の発見と予防について教授する。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 共通する看護 観察と記録、日常生活援助、循環器疾患の経過と看護 2. 症状に対する看護 3. 診察・検査を受ける患者の看護 4. 治療・処置を受ける患者の看護 5. 循環器疾患患者の看護 6. 手術を受ける患者の看護 7. 心臓リハビリテーション 		
テキスト	新看護学9 成人看護[1] 医学書院		
評価の方法・基準	筆記試験 100点 呼吸器看護のテストとの平均点にて評価		